

夢を紡ぎて

上田市立長小学校
学校だより
令和2年12月25日

2学期 93日 終了!

8月20日から始まった2学期。8月8日から12日間という短い夏休みを終えた子ども達は、元気に登校してくるだろうか。どんな様子で登校してくるのだろうか。そんな思いを抱きながら2学期が始まりました。子ども達は、私たち職員の心配をよそに、笑顔、元気いっぱいの姿を見せてくれました。そんな子ども達の姿に、保護者の皆様やご家族の皆様のお力添えを感じました。

2学期は、音楽発表会、長小オリンピック、マラソン大会等、今できることを考えながら実施しました。また、各学年の行事や活動のまとめも、状況を考えながら取り組みました。

その中で、長小学校の特色ある活動としての『米作り』も、感謝会で締めくくることができました。餅をつき味わったり、全校に子ども達自身でついた餅を振る舞ったりすることはできませんでしたが、子ども達の感謝の言葉、ほこほコネクトの皆様からの温かい言葉に、思わず胸が熱くなる、本当に心温まる感謝会となりました。

子ども達が自分の目的を持ち、一生懸命考え悩みながら取り組み挑戦し、最後に、達成感と満足感で最高の笑顔を見せる姿に幸せを感じると共に、学校のあるべき姿や意味をかみしめることができた2学期でした。

そして、そのような素敵なお子達の姿を見るたびに、保護者の皆様、地域の皆様の温かい見守り、励まし、支えのおかげだと痛感する日々でした。

2学期 93日 子ども達の大きな成長が一番。本当にありがとうございました。



学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。

◎長小学校の良さ・これからも大切にしていきたいこと

- ・子ども主体の活動がある。・丁寧な指導・自校給食・地域との交流・自然とのふれあい、体験活動
- ・他学年との交流、仲の良さ・少人数で活動がしやすい。・自分の意見を持って人前で言えるように。
- ・自主学習の習慣化 など

◎学校へのご意見や要望

- 挨拶：学校内だけでなく地区でもできるように。
- 学習：自主学習の内容への助言を・個に応じた学習支援の内容について知らせてほしい。
- 生徒指導や職員の対応の仕方：子どもがやる気を出すような指導や言葉かけを。・わかりやすい指示や説明を。・子ども達の話最後まで聞いてほしい。
- 行事：一週間の中にいくつもの行事を計画しないでほしい。・開催時刻の検討を。
- PTA 活動：役員選出について・役員の仕事内容の精選
- ・1. 2年生のヘルメット着用について ・運動着の販売方法について
- ・出席停止扱いでの欠席児童の学習保障について 等

多岐にわたり、たくさんのご意見やご要望をいただきました。(大きくまとめて記載してあります。)特に、職員の指導や対応については真摯に受け止め、職員全員で研修を行い、職員の人権意識を高め、子ども達の人権を大切にしたい指導に繋がるよう努力してまいります。また、要望については、来年度に活かせるよう十分に検討し、随時、具体的にお伝えしてまいります。

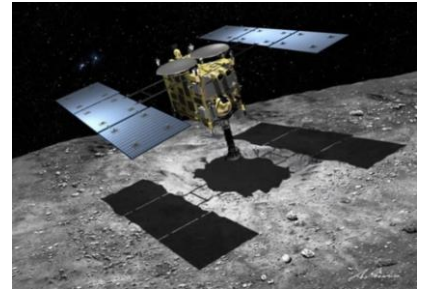
長小学校が地域の大切な学校であることを心し、子ども達が「長小で良かった」と思える学校づくりに努めて参ります。

これを見てください。何だかわかりますか。

そう「はやぶさ2」です。はやぶさ2 がリュウグウに着陸しようとしているところです。へこんだように見えているところは「人工クレーター」です。JAXA が世界で初めて作った人工クレーターです。JAXA はこのクレータを「おむすびころりんクレーター」と命名しました。近くにあるおにぎりの形をした岩が今にも転がり落ちそうなためだそうです。

今日は、この「はやぶさ2」の「チャレンジ」のお話です。

今月6日午前2時28分、小惑星「リュウグウ」の砂が入っているとみられるカプセルが、オーストラリアの砂漠に届けられました。そのカプセルを、6年間、約52億4千万キロの旅を成功させ地球へ届けてくれた「はやぶさ2」は、休む間もなく地球と火星の間を回る別の小惑星「1998KY26」に向かい、2031年の到着を目指して宇宙の旅を続けています。



はやぶさ2は19年2月の1回目の着陸でリュウグウ表面の砂などの採取に成功しました。そして4月に人工クレーターをつくることにも成功しました。地面の中の方にある砂を集めるためです。ところが2回目の着陸にあたって、JAXA 内で大激論が巻き起こりました。JAXA の国中均所長が「砂はもう採れている。リスクを冒してまで2度目の着陸をする必要はない。地球に帰らせよう。」と提案したのです。

理由は大きく二つありました。一つは、リュウグウの表面が予想以上に岩だらけだったことだ。直径100メートルの平坦な場所を探して着陸する計画だったのが、実際に見つかったのは直径6メートル。着陸には、上空20キロから甲子園球場のマウンドに降りられる精度が必要です。富士山2つ分の高さの空の上からビー玉を落として1円玉に命中させるくらいの正確さです。

もう一つは、リュウグウの成分が「お宝過ぎた」ことでした。そもそもはやぶさ2 がリュウグウに向かったのは、生命のもとになる物質を多く含んだ「炭素質コンドライト隕石」という隕石と、とっても似ているのがリュウグウだったからです。ところが、はやぶさ2 が光センサーで表面を観察したところ、地球上に存在するどの炭素質コンドライト隕石とも一致しない成分であることがわかったのです。1回目の着陸で集めた砂は隕石として地球にまだ降ってきていない物質、初の地球外物質である可能性が高いのです。このまま帰ってきても、素晴らしい成果が得られるのです。2回目の着陸をしなくても、世界中が大成功と言ってくれるでしょう。

でも、はやぶさ2 のチームは2回目の着陸をあきらめませんでした。チームは一つひとつの岩の高さや形を正確に測って立体の地図を作りました。そして、はやぶさ2 の12個のエンジンの癖も調べてはやぶさ2 を動かすプログラムをつくり、何百万回もコンピュータを使って着陸シミュレーションを繰り返して、19年7月11日、クレーター周辺に飛び散った地下物質めがけて2回目の着陸を行い、無事成功させたのです。

はやぶさ2 のチャレンジは見事成功しました。しかし、ここで考えてみてください。成功したからよかったのですが、失敗していたらどうするのでしょうか。JAXA の国中均所長が「2度目はやめよう。」と提案したことは間違っていたのでしょうか。あの「マイクロ波放電式イオンエンジン」という画期的なはやぶさのエンジンを完成させた、宇宙工学の第一人者である国中所長。誰かのまねではなく、自分の創意工夫による新しい機械を作り、見たことのない新しい世界を切り開くことがモットーだという国中所長。その人がなぜ2度目の着陸を中止するという提案をしたのでしょうか。

皆さん、「チャレンジ」とは何でしょう。

今日のお話はここで終わりにします。私も明日からの冬休みの間、考えてみたいと思います。皆さんもはやぶさ2 の「チャレンジ」について考えてみてください。それでは、3学期始業式には元気な皆さんを待ってます。

☆学校閉庁日・休日 (12/29~1/3)の緊急連絡先について

入院やケガ等の緊急の場合、インフルエンザに罹患した場合、新型コロナウイルス感染に関わる連絡は、まず、担任へお願いします。どうしても担任につながらない場合は、

市役所宿直(0268-22-4100)へご連絡ください。

12/28、1/4~7の8:15~16:45は、学校に職員がいますので、学校に連絡をお願いします。

☆新型コロナウイルス感染予防と休み明けについて

新型コロナウイルスの感染が全国的に心配な状況にあり、家庭内感染というケースも多く聞かれています。年末年始のご家庭での感染予防の徹底と不要不急の外出は控えるようご協力をお願いします。

1/8には、健康観察をしていただき、本人や家族に発熱や風邪症状が見られる場合は、登校を控えるようにしてください。